

2017
4

(4月15日号)

市民しんぶん山科区版

やましな



もてなすくん



f 山科区役所 検索

平成29年度山科区における主な事業



魅力あふれる山科区を作ってまいります。
京都市長 門川 大作

一人一人が輝くまち・山科へ

NEW やましな輝きプロジェクト

区民一人ひとりが、いきいきと輝き、活躍できる「住みやすい」「住み続けたい」まちの実現のため、安心・安全や子育て環境の充実、健康長寿などの観点から、「笑顔と花いっぱいプロジェクト」「赤ちゃんフェア」等の区民参加型の各種事業を実施します。



子育て

「山科赤ちゃんフェア」パパ、ママ、ベビーのための体験型イベントを開催。

やましなお誕生おめでとう事業
民生委員・児童委員・主任児童委員による乳児家庭への訪問・育児相談、記念品の贈呈を行う事業を、区内全13学区で実施。



笑顔と花いっぱいプロジェクト

★植栽ボランティア募集！
詳細は2面へ



防犯カメラの設置

1月中旬に山科駅前エスカレーターに防犯カメラを設置。盗撮犯人が検挙されるなど効果を発揮中。



安心安全

健康長寿

「こころの健康寿命延伸事業」

清水焼制作体験など、中高年齢の方々に認知症予防に効果的な生活習慣を提案する事業を実施。



区民向けスマートフォン・アプリを活用した「健康ウォーキング」の促進

文化芸術

子ども文化・芸術体験事業

子どもたちを対象とした文化・芸術体験事業を実施。



山科検定

第2回検定を、本年秋頃に実施予定。

山科40周年記念事業
山科検定

まちづくり

「やましな子ども・若者会議(仮称)」の開催

小学生から子育て世代までの幅広い世代が参加し、これからの山科について語るとともに、フィールドワーク等を実施。



京都刑務所(国有地)の活用検討

京都刑務所は、昭和2年に、現在地の山科区東野に移転されました。

刑務所移転当時は、田園風景の広がる地域でしたが、その後、約90年が経過する中で、宅地化が進み、地下鉄東西線や京都高速道路が開通し、交通利便性も格段に高まっています。

このような周辺環境の変貌や、昨年度に実施した区民アンケートの結果、約6割の方が「移転させるべき」又は「誘致するものによっては移転してもよい」と回答されたことを踏まえ、京都市として、国有地である京都刑務所について、山科区の魅力あるまちづくりはもとより、京都全体の発展に資する活用を、2年間で検討します。

琵琶湖疏水 通船復活試行事業

明治期の先人たちが築いた産業遺産である琵琶湖疏水の建設意義を認識いただき、沿線の大津・山科・岡崎地域の活性化の源となる事業として、通船復活に向けた試行事業を昨年度に引き続き実施します。



琵琶湖疏水(東山自然緑地)の桜

東山自然緑地における花の名所づくり

トイレやジョギングコースの改修などを行い、快適に四季の花木を楽しめる散策路としての魅力向上を図ります。

地下鉄東西線開業20周年記念イベント

平成29年10月で、地下鉄東西線が開業20周年を迎えることから、これまでのご利用に感謝するとともに、さらに便利で親しまれる地下鉄を目指し、東西線沿線で、20周年記念のイベントを開催します。



地下鉄・市バス応援キャラクター「小野ミサ」

©Kyoto Municipal Transportation Bureau 2013-2016

●問い合わせ先／
区総務・防災担当(☎592-3066)